

株式会社カネト

地域高齢化社会を宅配弁当で支える。「宅配弁当どばし」が「さくらのVPS」でデジタル基盤を構築

株式会社カネトは、高齢者の健康と生活を支える介護食の宅配事業を展開。見守り支援も行き、自治体や医療機関、ケアマネジャーと連携しながら、地域密着型ビジネスとして成長してきました。顧客の増加に伴い情報管理の負担が増し、ITシステム導入を決断。基盤には「さくらのVPS」を採用しました。1,200件超の顧客情報を表計算ソフトで管理していた同社が、VPSで業務をデジタル化した経緯と効果をご紹介します。

「1,200人分の情報を表計算ソフトで管理」事業拡大するなかで手作業に限界

株式会社カネトの創業者・土橋氏は、大手小売業で経験を積んだ後に地元へ戻り、家業の食料品店を継承。地域密着の事業を続けるなかで高齢化が進み、とくに高齢者の買い物環境が悪化している現状に危機感を抱いていたといいます。

そのようななか、高齢者向けの福祉サービスの充実に目的とした「介護保険制度」がスタート。これを機に、土橋氏は介護福祉事業への展開を決意し、2004年に「宅配弁当どばし」を立ち上げました。同サービスは、和歌山県かつらぎ町を中心に、介護食・療養食に特化した宅配事業を展開。管理栄養士監修のもと栄養バランスに配慮した食事を提供し、配達時にはユーザーの様子を確認する「見守り支援」も実施。自治体や医療機関、ケアマネジャーとの連携も進み、地域に安心を届けるサービスへと発展しています。現在は個人宅向けに加え、福祉施設や企業、地元小学校への給食・食材提供も行っています。2025年2月時点。



「最初は数十件ほどの注文から始めたので、表計算ソフトの手作業管理で十分でした。しかし、お客さまが増えるうち、情報の管理が大変になっていきました」（土橋氏）

アレルギーやサービス形態、再開履歴など、全ての情報を土橋氏が一人で管理。やがて顧客は1,200人を超え、作業時間も膨れ上がっていました。

Claris FileMakerを活かす「さくらのVPS」

システム化の相談を受けた松井氏（合同会社ダイナリンクス）は、「とくに請求業務が課題でした。

課題

- 表計算ソフトの手作業で1,200人超の顧客情報を管理
- アレルギーや利用履歴などの情報を見落とす懸念
- 毎月500件超の請求書を社長自身が手作業で作成、作業時間が膨大に

効果

- 情報がデータベースとして整理され、アクセスや管理が簡単に
- ヒューマンエラーが起きにくい仕組みへ
- 業務効率化により捻出したリソースで、付加価値を生む機能を実装

毎月約500件の請求書を社長が表計算ソフトで作成しており、情報の検索にも手間がかかっていました」と振り返ります。松井氏はヒアリングを重ね、ノーコード開発ツール「Claris FileMaker」が最適と判断。FileMaker開発に詳しい合同会社イボルプの八木氏に協力を依頼しました。「松井さんの話を聞いて、私もFileMakerが最適だと感じました。文字情報はもちろん、画像やPDFなど多様なデータを一元管理でき、大規模開発も不要で用途特化のシステムが構築しやすい。今回の課題に最善のツールだと考え、活用に適した環境として『さくらのVPS』を選びました」（八木氏）当時、AWSでのFileMaker Server提供は終了。

CentOSは将来性に不安がありましたが、安定したWindows Serverを低コストで使える点や実績が決め手となりました。「FileMaker Serverの体験版が初期設定されていたのも利点で、すぐ試せました。SSL対応や日本語の管理画面も扱いやすく、開発に集中できました」（八木氏）

かねてからの課題が解消、より付加価値の高いサービス提供へ

カネトがシステム化を検討し始めたのは2022年3月。5月にサンプルが完成し、8月に本番システムが稼働。

「正直、私は松井さんと八木さんにおまかせでした。自分が手を動かしたのは、サーバーの契約などの1時間程度だった気がします」（土橋氏）

現在は11台のiPhone、2台のiPad、2台のPCで新システムを運用。「導入後は大きなトラブルはなく、情報がデータベースとして整理され、扱いや

ご担当者様



株式会社カネト

<https://www.dobashi-8149.com/>

住所

和歌山県伊都郡かつらぎ町三谷 1-2

従業員

25名（パート含む）

事業内容

在宅配食サービス「宅配弁当どばし」の運営



株式会社カネト 代表
土橋靖弘氏



合同会社ダイナリンクス 代表
松井康成氏



合同会社イボルプ 代表
八木省一郎氏

すくなりました。これまで限界を感じながらやっていた作業が楽になり、さらに新たな付加価値をつけるためのサービスも実装してもらっています」（土橋氏）

今後については「より深く深化し、地域に根ざしたサービスとして掘り下げたい」と語ります。

「われわれのサービスの強みは、人と人のつながりです。見守りを通して、地域の高齢者の生活の質を上げ、本人やご家族が安心して暮らせる社会を支えるシステムを作りたいですね」（土橋氏）

松井氏も「介護食の宅配サービスは、今後の地域高齢化社会を支えるプラットフォームサービスになるものだと感じた」と語りました。

ご紹介したサービス

▶さくらのVPS



さくらインターネット株式会社

E-MAIL

support@sakura.ad.jp



サービスの詳細はこちら

<https://vps.sakura.ad.jp/>

